

# はなのき

学校教育目標  
◎地域や人を愛す生徒  
◎互いに学び合う生徒  
◎自ら体を鍛える生徒

小川町立西中学校通信 第16号  
平成30年11月21日発行  
校長 岡本均

目指す学校像  
☆ 笑顔あふれる  
地域の学校

**支援籍学習** 10月30日(火)、東松山特別支援学校に通う〇〇〇〇くんが支援籍学習で来校し、3年生の生徒たちと一緒に勉強しました。4校時の保健体育では、マラソンコースを走破。給食を2組の教室で一緒に食べ、昼休みの雑談。5校時の理科(3-2)の授業では、運動エネルギーの学習の後、理科に関する単語を使ったビンゴゲームを楽しみました。



理科の授業での交流

支援籍とは、埼玉県独自の制度で、特別支援学校の子供たちが通常の学校に籍を置き(逆のケースもあります)、授業などを通して交流の機会を持ちます。支援籍は、①(障害のある子供にとって)自立と社会参加を促進する。②(障害のない子供にとって)社会を構成する様々な人々と共生社会を作る。上記2つの側面から「心のバリアフリー(障害の有無にかかわらず心に壁を作らない)」を目指します。短い時間ではありましたが、子供たちは、理屈抜きに「心のバリアフリー」を実現してくれていたようでした。

## 総合的な学習の時間(10/31)

2年生は、福祉体験として、アイマスクを付けてのブラインドウォークと車椅子を体験しました。障害を持つ人の立場や気持ちを考えて支援や介護をすることが大切だと学びました。アイマスクを付けての階段の上り下りは、想像以上に怖かったようです。また、車椅子では、ちょっとした段差が大きな障害物になることも知りました。



ブラインドウォーク 相手に合わせる思いやり

車椅子は簡単には進みません。



ポルトガルは日本と密接な関係があった!!

3年生は、国際理解教育として、20分ごとに先生方が待ち構える4つの会場を移動しながら、韓国(担当:大高先生)、ポルトガル(水庭先生)、フランス(岩岡先生)、イタリア(内田先生)の4つの国について理解を深めました。ポルトガルに関する〇×クイズの中で、「おんぶ」がポルトガル語に起源があることを初めて知りました。

## 特別支援学級交流遠足

11月6日(火)に、小川班(小川町・東秩父村)の小・中学校特別支援学級合同の交流遠足が実施されました。埼玉県こども動物自然公園で動物と触れあったり、ゲームをしたりして楽しみました。雨まじりであいにくの天気でしたが、他校の生徒たちとの交流を通して、たくさんの思い出を作ることができました。



カピバラといっしょに笑顔いっぱい

熱戦の一コマ(熊谷ドーム)



## 新人体育大会 (県大会) の結果

11月7日(水)、比企地区新人体育大会を1位で通過した〇〇〇〇さん(1-1)、〇〇〇〇さん(1-2)のペアが、熊谷ドームで行われた県大会で快進撃を続け、ベスト8に進出しました。この結果によって、県の強化選手に選抜されました。おめでとうございます。

## 3年生校外学習

11月16日(金)、3年生は、「国際理解教育」「平和教育」に関わる校外学習を実施しました。

大東文化大学東松山キャンパスで、国際理解に関する講義「異文化理解とは? (講師:小尾淳先生)」を受け、その後、学内見学。大学の食堂で昼食を済ませた後、埼玉ピースミュージアム(平和資料館)に移動し、平和に関する映画鑑賞と資料見学というハードなスケジュールでした。子供たちは、真剣に学習に取り組み、有意義な時間を過ごしました。

大学の教室(講堂)は階段状



小川和紙も使われた風船爆弾



## 先生たちも勉強しています!

11月19日(月)は、岩岡先生が3年1組で道徳の授業を公開し、その授業をもとに先生方が全員参加しての勉強会(研修会)を実施しました。外部から講師をお招きして指導や助言もいただきました。

指導者からも絶賛!  
明るくノリの良い授業



先生たちもグループ討議

来年度から中学校も「特別の教科道徳」が必修教科として位置づけられます。道徳の教科化に向け、活発な意見交換ができました。

また、今年度、多くの県公立高等学校で「未来を拓く『学び』プロジェクト公開授業」という、中学校教員も参加できる公開授業を実施しています。西中からは、3つの高等学校(滑川総合高校、松山高校、松山女子高校)に4名(3教科)の先生が参加しました。さらに、小学校の授業研究会に参加している先生もいます。西中の先生方は、向上心を持って日々勉強に励んでいます。

## 西部北地区音楽会

11月20日(火)に、東松山市民文化センターで開催された西部北地区音楽会に、校内合唱コンクールで最優秀賞を獲得した3年1組が参加しました。合唱コンクール後も、昼休みや放課後を使って練習を重ねてきました。今までの思いをすべてぶつけて、素晴らしい歌声(曲名:「言葉にすれば」)をホールいっぱいに響かせました。指導者の先生からいただいた講評用紙の中で、「女声・男声の掛け合いもバランスが良く、ハーモニーにも響きがあります。4パートの役目がしっかりとできていた合唱です。」とおほめの言葉をいただきました。

最高の歌声で有終の美を飾りました



## 自転車事故防止に向けて

県内の交通事故死が異常な増加傾向にあるとして、**埼玉県警察本部が「非常事態宣言」を発令**しました(過去3年間の同時期の平均と比較して、10人以上の増加に転じた場合に出される)。

すでに、県内で**中学生3名が交通事故で亡くなっています**(1~11月)。

例年、寒くなってくるこの時期から、**朝読書の開始時刻ぎりぎりに駆け込み登校する生徒が増えてきます(朝練習がない3年生が特に心配)**。自転車通学中に、スピードの出し過ぎや後方確認せずに斜め横断、一時停止を怠るケース...等が増えてくるのが心配です。大事故につながりかねません。

**ご家庭でも、朝、余裕をもって家を出発できるようにご協力ください。**

